

(講座) 臨床薬学
(氏名) 西田孝洋

(研究室) 薬剤学
(職名) 准教授

【研究テーマ】

1. 臓器表面からの薬物吸収を利用した新規投与形態に基づく DDS の開発
2. 薬物の臓器内特定部位への移行の速度論的解析および標的指向化の製剤設計
3. 局所における薬物相互作用を利用した新規 DDS の開拓
4. 腹腔内臓器からの薬物吸収性を考慮したモデルに基づく全身体内動態の再構築
5. 薬物療法の個別化を目指した、病態時や相互作用による薬物体内動態の変動予測

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. M. Teshima, S. Fumoto, K. Nishida, J. Nakamura, K. Ohyama, T. Nakamura, N. Ichikawa, M. Nakashima and H. Sasaki: Prolonged blood concentration of prednisolone after intravenous injection of liposomal palmitoyl prednisolone, *J. Control. Rel.*, **112**: 320-328 (2006). (IF: 3.696)
2. M. Teshima, S. Kawakami, S. Fumoto, K. Nishida, J. Nakamura, K. Ohyama, M. Nakashima, H. Nakagawa, N. Ichikawa and H. Sasaki: Pegylated liposomes loading palmitoyl prednisolone for prolonged blood concentration of prednisolone, *Biol. Pharm. Bull.*, **29**: 1436-1440 (2006). (IF: 1.317)
3. H. Sasaki, S. Yoshida, T. Kitahara, T. Yoshioka, H. Nakagawa, T. Nakamura, N. Ichikawa, K. Nishida, J. Nakamura, and M. Nakashima: Influence of disease stage on polyethylenimine-mediated plasmid DNA delivery in murine hepatitis, *Int. J. Pharm.*, **318**: 139-145 (2006). (IF 2.156)
4. Y. Tada, T. Kitahara, T. Yoshioka, T. Nakamura, N. Ichikawa, M. Nakashima, K. Nishida, J. Nakamura, H. Sasaki: Partial hepatectomy enhances polyethylenimine-mediated plasmid DNA delivery, *Biol. Pharm. Bull.*, **29**: 1712-1716 (2006). (IF: 1.317)
5. J. Nakamura, S. Fumoto, K. Shoji, Y. Kodama, J. Nishi, M. Nakashima, H. Sasaki and K. Nishida: Stomach-selective gene transfer following the administration of naked plasmid DNA onto the gastric serosal surface in mice, *Biol. Pharm. Bull.*, **29**: 2082-2086 (2006). (IF: 1.317)
6. K. Sakanaka, K. Kawazu, K. Nishida, J. Nakamura, M. Nakashima, T. Nakamura, A. Oshita, N. Ichikawa, H. Sasaki: Transport of timolol and tilisolol in rabbit corneal epithelium, *Biol. Pharm. Bull.*, **29**: 2143-2147 (2006). (IF: 1.317)

B 邦文

(B-d) 紀要

1. 西田孝洋: 『「局所標的化を目的とした肝臓表面からの薬物吸収動態に及ぼす病態や肝切除の影響」(財)中富健康科学振興財団 第17回研究助成業績集 平成18年版 p.56-57

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. H. Sasaki, M. Teshima, N. Ichikawa, M. Nakashima, K. Nishida and J. Nakamura: Reticuloendothelial delivery or prolonged blood concentration of prednisolone after intravenous injection of liposomal palmitoyl prednisolone, The 3rd Korea-Japan Joint Symposium on Drug Delivery and Therapy, PDD-8, Abstracts p.61, Seoul, Korea (2006).

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 西田孝洋, 津田佳代子, 本田富得, 川上, 明夏, 中嶋幹郎, 佐々木均, 中村純三: 肝臓ターゲティングを目的とした表面投与法の開発: 肝臓表面からの薬物吸収動態に及ぼす病態や肝切除の影響, 日本薬剤学会第21年会, 講演要旨集, P-25, p.302, 金沢 (2006).
2. 西田孝洋, 中村純三: 薬学専門教育の支援を目的とした授業ホームページの活用, 日本薬学会第126年会, 講演要旨集3, P29[Q]am-021, p.214, 仙台 (2006).
3. 手嶋無限, 川上茂, 西田孝洋, 中村純三, 一川暢宏, 中嶋幹郎, 佐々木均: プレドニゾロンの誘導体およびリポソーム製剤を組み合わせた薬物体内動態制御, 日本薬学会第126年会, 講演要旨集1, GS4-2, p.266, 仙台 (2006).
4. 山内浩子, 埴田勇己, 一川暢宏, 籾秀人, 佐々木均, 中嶋幹郎, 西田孝洋, 中村純三: 肝再生の遺伝子デリバリーに対する影響 - 肝切除マウスにおける polyethylenimine / pDNA 複合体の遺伝子発現, 日本薬学会第126年会, 講演要旨集2, 029[N]-145, p.85, 仙台 (2006).
5. 川上恵, 中嶋幹郎, 北原隆志, 一川暢宏, 西田孝洋, 中村純三, 谷山紘太郎, 北岡隆, 佐々木均: 抗アレルギー点眼薬の角膜上皮バリアーに対する影響, 日本薬学会第126年会, 講演要旨集2, 030[P]-174, p.155, 仙台 (2006).
6. 佐々木均, 山内浩子, 埴田勇己, 一川暢宏, 籾秀人, 中嶋幹郎, 西田孝洋, 中村純三: Polyethylenimine を用いた遺伝子デリバリーへの病態の影響 - 四塩化炭素誘発肝障害マウスにおける検討, 日本薬学会第126年会, 講演要旨集2, P30[S]am-562, p.136, 仙台 (2006).
7. 西田孝洋, 西順也, 中村純三: 薬剤師卒後教育の支援を目的としたホームページ「e卒後教育」構築の試み, 医療薬学フォーラム2006/第14回クリニカルファーマシーシンポジウム, 講演要旨集 p.295, D23-1, 大阪 (2006).

8. 西順也, 中島由希子, 西田孝洋, 麓伸太郎, 中嶋幹郎, 佐々木均, 中村純三: マーカ-物質の透過性を指標とした腹膜肥厚の評価法, 第16回日本医療薬学会年会講演要旨集, p.331, 01-C-02, 金沢 (2006).
9. 西田孝洋, 西順也, 三宅秀明, 中村純三: エクセルを用いた薬物速度論の系統的な教育, 第16回日本医療薬学会年会講演要旨集, p.456, 30P3-105, 金沢 (2006).
10. 中嶋幹郎, 川上恵, 西田孝洋, 中村純三, 谷山紘太郎, 北岡隆, 一川暢宏, 佐々木均: 点眼薬の角膜上皮バリアーに対する影響 - 新しい評価システムによる検討 -, 第16回日本医療薬学会年会講演要旨集, p.556, 01P3-007, 金沢 (2006).
11. 西田孝洋, 西順也, 麓伸太郎, 中嶋幹郎, 佐々木均, 中村純三: 臓器選択的な消失過程の阻害に基づく新規 DDS の開発: Probenecid の臓器表面適用に関する基礎的検討, 第21回日本薬物動態学会年会, 講演要旨集, p317, 30PE-07, 東京 (2006).
12. 中村純三, 麓伸太郎, 土持真由美, 兒玉幸修, 西順也, 中嶋幹郎, 佐々木均, 西田孝洋: PlasmidDNA の肝臓表面への微量持続滴下による肝臓内部位特異的遺伝子導入, 第21回日本薬物動態学会年会, 講演要旨集, p318, 30PE-09, 東京 (2006).
13. 三宅秀明, 西田孝洋, 麓伸太郎, 中嶋幹郎, 佐々木均, 栄田敏之, 中村純三: 肝灌流実験による低体温療法時の薬物動態変動の解明, 第23回日本薬学会九州支部大会, 講演要旨集, p.162, 2D-06, 熊本 (2006).
14. 木下真理子, 西田孝洋, 兒玉幸修, 麓伸太郎, 中嶋幹郎, 佐々木均, 中村純三: 肝臓への投与形態に応じた効果的な製剤設計に関する薬物動態学的検討, 第23回日本薬学会九州支部大会, 講演要旨集, p.163, 2D-07, 熊本 (2006).
15. 山下千恵, 田代浩幸, 川原利春, 永田修一, 中村博, 大脇裕一, 西田孝洋, 中村純三, 中嶋幹郎: 新様式の処方せん導入による後発医薬品の利用状況の変化, 第23回日本薬学会九州支部大会, 講演要旨集, p.114, 1D-27, 熊本 (2006).

【学会役員等】

1. 日本薬剤学会評議員
2. 日本薬学会九州支部 幹事
3. 日本薬学会代議員

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	85 編	(邦文)	1 編
総説 (欧文)	4 編	(邦文)	2 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	3 編
紀要 (欧文)	1 編	(邦文)	10 編
特許	0 件		